

家庭教育出前講座

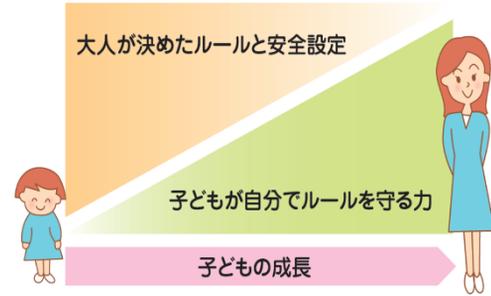
日時 令和6年1月16日(火) 18:00~19:00

参加人数 20名

実施団体 佐和山民生委員児童委員協議会

講師 生涯学習課員

テーマ インターネットと子育て



【参加者の感想より】

○内容も分かりやすく、例として挙げられる話も身近な話でしたので、納得することができました。2歳になる孫もスマホが子守をしている場面を見かけます。母親にとってみれば、少しでもじっとしていてくれるなら…という状況なのでしょうが、気持ちはわかるけど、どう説得すればよいか思案していましたので、本日聞いた話をしてみようと思います。我が家だけに限った話でもないと思いますので、折に触れて周りのお母さん方にも話してみようと思いました。

○子どものスマホの使用の実態、悪影響、トラブルの状況を聞いて驚きました。子育ての中での取組、そして、その家庭にかかわる民生委員児童委員、主任児童委員にとって必要な知識だと改めて思いました。

○スマホの恐ろしさがよくわかりました。大変便利ですが、注意が必要です。家庭での話し合い、コミュニケーションの重要性を認識しました。

○インターネットの利用が青少年にいろいろと影響を与えているのが想像以上でした。長所と短所、いろいろありますが、もうネットなしの社会はあり得ません。どう活用していくか、どう気をつければよいか、考えさせられる内容でした。

○スマホは、家庭の和をくずします。スマホ問題は社会全体で取り組まなければならない深刻な問題だと思っています。

○スマホによる長短について理解するとともに、データでみるとかなり問題点が多くみられます。これを防ぐために、短所を理解してわからせること、家族としての一体感を持って接していくことが必要だと思いました。家族でのコミュニケーションが重要です。SNSでの怖さを知って、子どもと一緒に話をして、理解させ、見守る必要性を感じました。

○2歳児、小学生、中学生の1日のスマホ利用時間は衝撃的な数字でした。「子は親の鏡」。大人の姿がそのまま子どもに反映していると思います。親も含めた大人のロールモデルが少なくなっているのではないのでしょうか。家庭、学校、地域で育てるのは、AIにできないおもてなし、マネジメント、創造性であると再認識できました。

県生涯学習課では、家庭教育リーフレット「インターネットと子育て」を活用した研修会やワークショップを進めています。御検討の場合等、県生涯学習課までお気軽にお問合せください。